令和５年度　研究全体会

船橋市教育委員会研究指定　小中一貫教育
短期３年（１年目）
大穴小学校・大穴北小学校・大穴中学校

はじめに

「小中一貫」

中学校卒業の姿のイメージを三校で共有

児童の実態

新しい視点
新たな発見

子供に身に付けて
ほしいもの

子供に身に付け
させたい力

難しい。課題は山積み・・・
でも！

研究主題

自ら学び　よりよく生きる子供の育成を目指す　小中一貫教育

～学びに向かう力を育む授業づくり～

主題設定の理由

「自ら学び」

・主体的に学習に取り組み態度

・自分に合った目標を見つけ、目標を達成するために主体的に考え、実践できる姿

「よりよく生きる子供」

・中学卒業後の進路決定や自分の未来に向かって自己実現していこうとする気持ちを育てる。

・目標を持たせる。目標に向かって努力できる。

主題設定の理由

大穴中
関心意欲低い
基礎学力低い
学ぶ意欲低い
進路決定難しい

大穴北小
与えられたことはできるが、主体性がない。

大穴小
基本的な学習習慣は身に付いているが、学力が低く、個人差も大きい。

学びに向かう力が必要！

７つの習慣
クラス会議

主題設定の理由

「７つの習慣」

自分を高める

↓

「クラス会議」

集団を高める

↓

日々の授業

生き生きと学ぶ
子供の姿

文献より　感動ある学習の創造とは

自力で解決しようとする主体的な目の輝きである。本気になって追求している子どもの目は必ず生きている。「おかしいな」と、悩む顔も「分からないな」と、当惑する顔も生きているのである。そんな子どもの心のひだの、小さな躍動を感動ととらえるならば、授業の中でも、そうした日常的な小さな感動場面を積み重ねていくことこそ、自分の生き方を決定するときの内なる力となるのではとないかと考えた。

子供の自己肯定感を引き出すために大切なこと

①子どもの良さを信頼し、成長を期待すること
②自分自身に向き合わせること
③教師の喜びや感動を子どもの心に届くように伝えること
④一人一人が頑張りがいのある集団に育てること

高校時代の監督より

「心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる」

目指す
児童生徒像

・学ぶことに興味・関心を持ち、自らの目標を目指して粘り強く取り組む児童生徒

・学びをつなげ、より良い考えを生み出し、選択できる児童生徒

研究推進部

①生活習慣の改善・・・大穴小
②学習習慣の改善・・・大穴北小
③自己調整力の育成・・・大穴中

※検討中のものあり。

研究の進め方

３年後の公開研究会で…

低学年→７つの習慣

中学年→クラス会議

高学年→教科授業

土台作りの
１年

の、実践を見せたい。

＜第１段階：知る＞

６月１日（木）の研修で詳しく学びましょう！

１年生・・・⓪、①～③の習慣
２年生・・・④、⑤、⑥の習慣
３年生・・・⑦、（⑧）の習慣

紙芝居形式
※資料あり

２段階サイクルで、習慣をより浸透させる！

＜第２段階：高める＞

４年生・・・⓪、①～③の習慣
５年生・・・④、⑤、⑥の習慣
６年生・・・⑦、（⑧）の習慣

パワポ形式
※資料あり
※研推で資料作成

クラス会議

この生活目標と絡めたら
盛り上がった！

子供が変わった！

まずは、
「やってみる」から。

この時期は厳しかった

ぜんぜん上手くいかなかった。

すべて次年度の研究につながる！

年間計画

主な予定	
６月	職員研修 教材づくり
７月	提案授業（１年） 教材づくり
夏休み	実態調査用研究アンケートづくり 教材づくり
９月～１２月	授業実践 アンケート実施
１月～２月	授業実践 研究のまとめ
３月	研究全体会

☆「７つの習慣」、「クラス会議」の実践
☆アンケートづくり、実施
☆大穴スタイルの「７つの習慣」「クラス会議」づくり

ご清聴ありがとう
ございました。